

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 夢テクノロジー

コード番号 2458 URL <http://www.yume-tec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 眞吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 金子 壮太郎

TEL 03-5940-2215

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	2,833	7.6	241	18.4	238	△14.5	201	△21.3
25年9月期第3四半期	2,632	△7.8	203	△1.7	278	25.6	255	19.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	35.25	—
25年9月期第3四半期	44.79	—

当社は、平成26年3月31日(月)を基準日、4月1日(火)を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、「1株当たり四半期純利益」につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
26年9月期第3四半期	2,514		1,586		63.1	277.82
25年9月期	2,814		1,854		65.9	324.59

(参考)自己資本 26年9月期第3四半期 1,586百万円 25年9月期 1,854百万円

当社は、平成26年3月31日(月)を基準日、4月1日(火)を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、「1株当たり純資産」につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	2,000.00	—	6,000.00	8,000.00
26年9月期	—	2,000.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	20.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年3月31日(月)を基準日、4月1日(火)を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。平成25年9月期及び平成26年9月期第2四半期の配当額は株式分割前の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,700	4.8	250	△9.7	250	△41.7	230	△50.4	40.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年3月31日(月)を基準日、4月1日(火)を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、業績予想における「1株当たり当期純利益」につきましては、当該分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期3Q	5,712,000 株	25年9月期	5,712,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年9月期3Q	— 株	25年9月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	5,712,000 株	25年9月期3Q	5,712,000 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成26年3月31日(月)を基準日、4月1日(火)を効力発生日として当社普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しておりますので、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」「期中平均株式数(四半期累計)」につきましては、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。上記予想数値に関する事項につきましては[添付資料]P3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や日銀の金融緩和政策により円安・株高傾向が継続し、企業業績や雇用情勢の改善、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要に下支えされ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方で、新興国の経済成長失速など、世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

当社の顧客企業が属する自動車・電気機器・半導体等の製造業におきましては、輸出の改善を背景に国内生産が堅調に推移いたしました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界においては、新たな価値を生み出すビッグデータの有効活用を視野に入れたデータ管理基盤の強化、データセンター関連ビジネスへの投資促進等、総じて堅調に推移いたしました。

このような事業環境の下、契約単価アップ・新規配属を中心とした営業戦略と、採用強化による付加価値の高い人材サービスの提供に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は2,833百万円（前年同四半期比7.6%増）、営業利益241百万円（前年同四半期比18.4%増）、経常利益238百万円（前年同四半期比14.5%減）、四半期純利益201百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は2,514百万円（前事業年度末は2,814百万円）となり300百万円減少いたしました。

#### （流動資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は2,095百万円（前事業年度末は2,492百万円）となり396百万円減少いたしました。

主な要因は、現金及び預金の減少によるものであります。

#### （固定資産）

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は418百万円（前事業年度末は321百万円）となり96百万円増加いたしました。

主な要因は、投資有価証券の増加によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債の残高は927百万円（前事業年度末は960百万円）となり33百万円減少いたしました。

#### （流動負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は523百万円（前事業年度末は523百万円）となり0.5百万円増加いたしました。

主な要因は、賞与引当金及び未払法人税等の減少、未払消費税等及び未払費用の増加によるものであります。

#### （固定負債）

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は403百万円（前事業年度末は437百万円）となり33百万円減少いたしました。

主な要因は、長期借入金の減少及び退職給付引当金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は1,586百万円(前事業年度末は1,854百万円)となり267百万円減少いたしました。

主な要因は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加及び剰余金の配当による減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の業績につきまして、現時点では、平成25年10月31日に公表しました内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,877,716	1,425,286
受取手形及び売掛金	452,786	511,272
その他	162,012	159,052
貸倒引当金	△47	△51
流動資産合計	2,492,468	2,095,560
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,102	3,805
工具、器具及び備品(純額)	9,509	6,432
建設仮勘定	—	8,630
有形固定資産合計	12,611	18,868
無形固定資産		
投資その他の資産	15,475	7,513
投資有価証券	263,784	358,581
敷金及び保証金	28,471	32,607
その他	1,521	906
投資その他の資産合計	293,777	392,094
固定資産合計	321,864	418,477
資産合計	2,814,332	2,514,038
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	34,104	26,427
未払費用	200,405	220,185
未払法人税等	37,330	2,136
未払消費税等	19,660	63,611
賞与引当金	120,261	71,201
その他	51,268	80,064
流動負債合計	523,031	523,628
固定負債		
長期借入金	165,000	120,000
退職給付引当金	270,069	281,896
その他	2,189	1,613
固定負債合計	437,259	403,509
負債合計	960,290	927,137
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	869,650	869,650
資本剰余金	346,606	346,606
利益剰余金	646,744	391,135
株主資本合計	1,863,001	1,607,391
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,959	△20,491
評価・換算差額等合計	△8,959	△20,491
純資産合計	1,854,042	1,586,900
負債純資産合計	2,814,332	2,514,038

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,632,817	2,833,998
売上原価	2,019,915	2,152,776
売上総利益	612,901	681,221
販売費及び一般管理費	409,189	439,939
営業利益	203,712	241,281
営業外収益		
受取利息	120	172
受取配当金	6,629	—
投資有価証券売却益	59,605	411
投資事業組合運用益	7,518	6,194
その他	6,091	1,721
営業外収益合計	79,965	8,498
営業外費用		
支払利息	2,124	2,379
投資事業組合運用損	—	7,886
その他	2,619	930
営業外費用合計	4,743	11,197
経常利益	278,933	238,583
特別利益		
受取和解金	—	800
特別利益合計	—	800
特別損失		
訴訟関連損失	640	1,480
特別損失合計	640	1,480
税引前四半期純利益	278,293	237,903
法人税、住民税及び事業税	22,473	20,304
法人税等調整額	—	16,248
法人税等合計	22,473	36,553
四半期純利益	255,820	201,350

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計
	エンジニアアウト ソーシング事業	N&Sソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,213,918	418,898	2,632,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	2,213,918	418,898	2,632,817
セグメント利益	156,350	47,362	203,712

(注1) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合 計
	エンジニアアウト ソーシング事業	N&Sソリューション事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,345,715	488,282	2,833,998
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	2,345,715	488,282	2,833,998
セグメント利益	219,168	22,113	241,281

(注1) セグメント利益の合計金額は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。